

国語科学習指導案

単元名「探偵団出動！ことわざ・故事成語の“決定的瞬間”をスcoopしよう」

令和7年12月
第3学年 指導者 赤澤 和哉

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編の第3学年及び第4学年の内容〔知識及び技能〕(3)イ「長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと」、〔思考力、判断力、表現力等〕のB(1)ア「相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること」を受けて設定したものである。

本単元では、楽しみながらことわざ・故事成語の意味を理解し、それらの活用方法が分かるよう、「ことわざ・故事成語スcoop報告会」という活動を設定する。この単元におけるスcoopとは、ことわざ・故事成語の意味や使い方を、動画、写真、文章で分かりやすく表現したものである。スcoop報告会とは、ことわざ・故事成語の意味や使い方を、分かりやすく説明したスcoopになっているかを確認し合う会である。なお、スcoop報告会に向けて、調べたことわざ・故事成語から、スcoopすることわざ・故事成語を選定する場面や、スcoopとして表現する場面では、ことわざ・故事成語探偵団となってグループ活動を行うことで、「やりたい」「知りたい」気持ちを高め、新たな気付きを得たり、表現力を高めたりできるようにする。

単元の導入では、ことわざ・故事成語のクイズを通して、それらには文字通りの意味とは別の意味があることに気付くようにする。単元の追究では、児童一人一人が興味をもったことわざ・故事成語を選び、その意味や使い方を調査する。抽象的な思考が苦手な児童には、教師との対話を通して経験を言語化する支援を行う。さらに、グループで、個々に調べたことわざ・故事成語の中から、スcoopすることわざ・故事成語を選定する。選定に当たっては、「思っていた意味と違う」「意味が分かれば使える」といった視点で選定するように促す。そして、選定したことわざ・故事成語の意味が最もよく伝わる「決定的瞬間」を表現するスcoop資料を制作する。スcoopの表現方法には、タブレット端末を用いた動画、写真または文章があり、児童の能力や興味に応じて選択できるようにする。互いのアイデアを伝え合う場面では、作業を分担するだけでなく、「その表現で意味が伝わるか」という視点を与え、協働しながらグループの表現をブラッシュアップしていく。最後に「ことわざ・故事成語スcoop報告会」を開催し、完成したスcoopを報告・鑑賞し合うことで、互いの表現の工夫を認め合う。また、ことわざ・故事成語を身近な場面と関連させ、それらの理解が深められるようにする。

なお、ことわざ・故事成語を探偵団としてスcoopで表現するという設定には、本単元の学習内容について難しさのある児童にとって、次のような効果があると考えている。

① 言語活動のハードル低下（非言語的な表現）

「読む・書く」ことに難しさのある児童にとって、ジェスチャーや写真・動画撮影といった身体や視覚を使った活動は、言語のみに頼らずに取り組めるため、学習へ参加しやすくなる。

② 抽象概念の視覚化・具体化

ことわざ・故事成語という抽象的な言葉の意味を捉えながら「決定的瞬間」としてスcoopして可視化する過程は、言葉でイメージをつかむことが難しい児童の理解を助けることができる。

③ 役割の多様性と居場所の確保

「探偵団」というグループ活動において、多様な役割を設定することで、人前が出るのが苦手な児童や協働が苦手な児童も、自分のよさを生かして参加ができる。

④ 「期待感」の要素による意欲の向上

「謎解き・探偵」というストーリー性をもたせることで、失敗への不安感が強い児童の心理的負担を軽減し、楽しみながら主体的に取り組む意欲を引き出すことができる。

本単元の学習を通して、楽しみながら、ことわざ・故事成語の意味や使い方を理解するとともに、自らの表現方法を選択・決定し、伝えたいことを明確にする力や、友達と協働しながら、ことわざ・故事成語のおもしろさや奥深さを積極的に伝えようとする態度を育みたい。

2 研究との関わり

本研究では、通常の学級の児童も、特別支援学級の児童も、誰もが共通の目的つながり共に学び、自ら学びを進められる授業づくりを目指し、以下の手立てを講じていく。

(1) 共通の目的でつながり、目的意識をもち続けながら学ぶことができる単元構成

学習への知的好奇心を高め、一人一人が強い目的意識をもち続けられるような活動のテーマを設定し単元を構成する。本単元では、児童が「ことわざ・故事成語探偵団の一員となり、身の回りに隠された“ことわざ・故事成語”の謎を解き明かしスクープする」というテーマを設定し、探偵団になって、ことわざ・故事成語の意味や使い方を調べたり、それらをどのように伝えるかを考えたりすることで意欲的に取り組めるようにする。本手立てにより、『期待感』を高めて意欲を向上させるとともに、非言語的な表現を取り入れて言語活動のハードルを下げる。このことで、児童の学習への抵抗感が軽減し、『やりたい』という目的意識をもち続けられるようにする。

(2) 自分に合った学び方で自ら学びを進めることができる環境構成

児童生徒の多様なニーズに合わせた学び方や学習環境を提供する。例えば、学習形態、学習道具、表現方法が児童の実態に応じて自由に選択・決定できるようにしておく。そのような学習環境の中で自ら学びを進め、課題解決することで、児童が「できた」という充実感や達成感を得られるようにする。本単元では、ことわざ・故事成語を表す瞬間を捉えた動画、写真、文章を制作し、それを「スクープ報告会」で、報告し合う活動を行う。ことわざ・故事成語を調べる際には、学習形態や調査資料（写真やルビ等の視覚的補助があるものを含む）を自由に選択・決定できるようにする。さらに、表現方法においては、単に「自由」とするのではなく、「動画で実演」「写真で一言」「文章で説明」といった具体的なモデルを用意することで、見通しをもって選択・決定ができるようにする。本手立てにより、教師が役割の多様性を認め、児童の居場所を確保するとともに、抽象概念を視覚化・具体化して、ことわざ・故事成語をイメージできるようにすれば、誰もが自らの学びを進められるようになると思う。

3 単元の目標及び児童の実態（通：通常の学級の児童、知：知的障害特別支援学級の児童）

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる（通）。 長い間使われてきたことわざや故事成語に触れる活動を通して、たくさんのことわざ・故事成語があることに気付いている（知）。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉に関心をもち、国語辞典を使ってその意味を調べることに慣れている児童が多い。そこで、ことわざ・故事成語のような、まとまりとしての言葉の意味や、由来について調べる機会を増やしたい（通）。 試写はできるが、新しい学習には抵抗があり、活動するまでに時間を要することある（知）。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識し、調べたことを基にスクープすることを考え、伝えたいことを明確にすることができる（通）。 ことわざ・故事成語の意味から具体的な場面を想像したり、必要な事柄を集めたりして、伝えたいことを考えることができる（知）。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを文章にまとめる経験がある。しかし、読み手や目的を強く意識して、情報を取捨選択したり、より伝わりやすい表現にしたりすることには個人差が見られる（通）。 絵やルビが多いカルタに興味を示し、進んでカルタを選び取ることができる。視覚的な支援によって、ことわざ・故事成語の意味をつかみやすくするよう配慮する（知）。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ことわざ・故事成語のよさを感じ、それらに興味をもつと共に、進んで調べてみようとする（通）。 ことわざ・故事成語のよさを感じ、それらを使ってみようとする（知）。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に進んで取り組むことはできるが、自分から活動の幅を広げようとする姿は少ない（通）。 与えられた課題に黙々と取り組むことができるが、興味をもって学んだことを生かす経験は少ない（知）。

4 評価規準（通：通常の学級の児童、知：知的障害特別支援学級の児童）

知識・技能	<p>①ことわざ・故事成語について調べ、その意味や使い方を知っている（通）。</p> <p>①ことわざ・故事成語について調べ、たくさんのことわざ・故事成語があることに気付いている（知）。</p>
思考・判断・表現	<p>①相手や目的を意識し、ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるために、場面を想像したり、表し方を工夫したりして、スクープすることを明確にしている（通）。</p> <p>①ことわざ・故事成語の意味から、何が出てくるかを想像したり、その意味を伝えるために必要な言葉を集めたりして、スクープすることを考えている（知）。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①学習課題を捉え、ことわざ・故事成語に興味をもち、今後の報告に向けて表現方法を選んで書いている（通）。</p> <p>①学習課題を聞き、ことわざ・故事成語に興味をもっている（知）。</p> <p>②スクープ報告会に向け、ことわざ・故事成語をスクープ資料にまとめようとしている。（通）。</p> <p>②スクープ資料制作のために、進んで役割を果たそうとしている（知）。</p> <p>③スクープ報告会において、友達の表現の工夫を見付けながら、ことわざ・故事成語への興味を高め、ことわざ・故事成語について更に知りたいという思いをもっている（通）。</p> <p>③ことわざ・故事成語がもつよさを感じるとともに、ことわざ・故事成語でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている（知）。</p>

5 指導及び評価の計画（全5時間）

過程	時間	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
であう	1	<p>□ことわざ・故事成語探偵団の一員となり、単元の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[単元の学習課題] ことわざ・故事成語の決定的しゅんかんをスクープして、報告しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ことわざ・故事成語クイズで、それらに慣れる。 ・単元の学習の見通しをもつ。 ・「スクープ」のイメージをもつ。 ・スクープコンテストの表現方法を考える。 			①	<p>◆通>学習課題を捉え、ことわざ・故事成語に興味をもち、今後の報告に向けて表現方法を選んで書いている。<ワークシート(態①)></p> <p>◆知>学習課題を聞き、ことわざ・故事成語に興味をもっている。<ワークシート(態①)></p>

追究する	2	□ことわざ・故事成語を調べる。(捜査ビンゴ)	①		
	[本時のめあて] スcoopしたいことわざ・故事成語には、どんな意味や使い方があるのだろうか。				
		<ul style="list-style-type: none"> グループで、書籍、カルタ、タブレット端末を使い、ビンゴのカテゴリー等に合った、ことわざ・故事成語の意味や使い方を調べる。 調べた内容を「探偵手帳(ワークシート)」に記録する。 調べた中から、スcoopにしたいことわざ・故事成語を個別に1つ選び、意味や使い方を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆通>ことわざ・故事成語について調べ、その意味や使い方を知っている。<ワークシート(知①)> ◆知>ことわざ・故事成語について調べ、たくさんのことわざ・故事成語があることに気付いている。<ワークシート(知①)>
3 (本時)	□探偵班でスcoopのシナリオ(4コマ漫画等)を制作する。	①			
[本時のめあて] ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるには、どんな場面の、どんな様子を何で表せばよいのだろうか。					
		<ul style="list-style-type: none"> 4~5人のグループに分かれ、調査したことわざ・故事成語を伝え合って比較し、グループでスcoopすることわざ・故事成語を選定する。 その意味を分かりやすく伝えるために、どんな場面でどのように表すかを話し合っ、主に4コマ漫画を制作してシナリオシートにまとめる。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆通>相手や目的を意識し、ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるために、場面を想像したり、表し方を工夫したりして、スcoopすることを明確にしている。<ワークシート(思①)> ◆知>ことわざ・故事成語の意味から、何が出てくるかを想像したり、その意味を伝えるために必要な言葉を集めたりして、スcoopすることを考えている。<ワークシート(思①)>
4	□ことわざ・故事成語の意味を伝えるためのシナリオを基に、スcoop(動画、写真、文章のどれかで表現)を制作する。		②		
[本時のめあて] さらに、どんな工夫をすればことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えられるだろうか。					
					<ul style="list-style-type: none"> ◆通>スcoop報告会に向け、ことわざ・故事成語をスcoop資料にまとめようとしている。<ワークシート(態②)> ◆知>スcoop資料制作のために、進んで役割を果たそうとしている。<ワークシート(態②)>

まとめ	5	<p>□「ことわざ・故事成語スクープ報告会」で伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ことわざ・故事成語スクープ報告会」を開き、各グループで、スクープを伝え合う。 ・互いのスクープを鑑賞し、ことわざ・故事成語の意味や使い方について、分かりやすいスクープになっているか話し合う。 ・単元全体の活動を振り返り、学んだことや今後の生活への生かし方をまとめる。 		③	<p>◆通>スクープ報告会において、友達の表現の工夫を見付けながら、ことわざ・故事成語への興味を高め、ことわざ・故事成語について更に知りたいという思いをもっている。<ワークシート(態③)></p> <p>◆知>ことわざ・故事成語がもつよさを感じるとともに、ことわざ・故事成語でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。<ワークシート(態③)></p>
<p>[本時のめあて] ことわざ・故事成語の意味を伝わりやすくしたのは、どんな工夫があったからなのか。</p>					

II 第3時の学習

1 ねらい

ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝える方法を考える活動を通して、相手や目的を意識し、ことわざ・故事成語の場面を想像したり、表し方を工夫したりして、スクープすることを明確にできるようにする(通)。

ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝える方法を考える活動を通して、ことわざ・故事成語の意味から、何が出てくるかを想像したり、その意味を伝えるために必要な言葉を集めたりして、スクープすることを考えられるようにする(知)。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(導入5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて></p> <p>ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるには、どんな場面のどんな様子を何で表せばよいのだろうか。</p> </div> <p>S: <u>どんな場面</u>の、<u>どんな様子</u>を、<u>何</u>で表せばいいかを考えればいいんだな。</p> <p>S: 私が選んだことわざの意味を分かりやすく伝えるなら、<u>休み時間</u>の、<u>友達が話している様子</u>を、<u>動画</u>にすればいいのかな。</p>	<p>◎単元を貫く目的意識が本時にも生きるように、スクープ報告会を行うこと(共通の目的)や前時のことわざ・故事成語の調査結果の活用を指示する。</p> <p>○本時のめあてを達成する見通しがもてるように、スクープを伝える相手や目的を問いかける。(相手:低学年に、目的:ことわざ・故事成語の意味を伝えるためのスクープ資料)</p> <p>◎本時の見通しがもてるように、めあて、活動内容、まとめを同時に示す。</p>
<p>2 グループに分かれ、調査したことわざ・故事成語を伝え合って比較し、スクープすることわざ・故事成語を選定する。(展開①10分)</p>	<p>◎互いの考えを伝え合い、新たな気づきが得られるように、前時までに児童が考えた「表現方法」「自分が選んだことわざ・故事成語」を基に、4～5名程度のグループを編成する。</p> <p>○グループで即共有できるように、前時までにグループごとに選定したことわざ・故事成語を提示する。</p>

<p>S : 「いたちごっこ」は、ごっこ遊びではなくて、互いに同じことの繰り返しで、キリがないことみたいだ。<u>思っていた意味と違うことわざだからスクープすることわざにしよう。</u></p> <p>S : 「<u>圧巻</u>」は、難しい言葉に聞こえるけど、<u>意味が分かれば使えることわざ・故事成語だからスクープする故事成語にしよう。</u></p> <p>S : 僕が選んだことわざは、〇〇だよ。意味は〇〇、使い方は〇〇だよ。</p>	<p>○報告するものとして、よりよいことわざ・故事成語が選定できるように、「思っていた意味と違う言葉」、「意味が分かれば使えるような言葉」といった視点を与える。</p> <p>◎心理的安全性を高め、発言しやすい雰囲気になるように、「仲間の発言は最後まで聞く」や「分からない・間違いは宝物で受け入れる」といったルールを意識付ける。</p> <p>○知的児童がイメージしやすいように、知的障害児童と同じグループの児童のことわざ・故事成語について事前にイラストを準備し、知的障害児童が参考にできるようにする。</p>
<p>3 選定したことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるために、どんな場面で、どのように表すかを話し合っ、4コマ漫画を制作しシナリオシートにまとめる。(展開②25分)</p> <p>S : 「いたちごっこ」の意味は、互いに同じことの繰り返しで、キリがないことだから、休み時間に、友達が自慢し合っている様子を、4コマ漫画にして動画を撮りたいな。</p> <p>S : 「<u>圧巻</u>」の意味は、他よりも大変優れている作品や技だから、体育の授業で、1人がすごい技を決めていて、他の人は驚いている様子を4コマ漫画にして写真を撮りたいな。</p> <p>S : (シナリオシートを見て)「いたちごっこ」には、(休み時間に)友達が二人いるな。「僕の方がすごい」って言っているな。このセリフを言ってみよう。</p>	<p>◎どんな場面の、どんな様子を何で表せばいいかを考えられるように、シナリオシート(指導案資料1)を活用するよう促す。</p> <p>◎シナリオシートのかき方がイメージできるように、同シートのモデル(指導案資料2)を活用できるようにする。</p> <p>◎身近な場面の4コマ漫画がどのようなものかイメージできるように、4コマ漫画の内容が「難しい例」「的外れな例」「身近な例」を提示する。</p> <p>◎誰もが活躍できるように、動画に映って演じる子、声や拍手などで出演する子といった、自分に合った役割を担うことを促す。</p> <p>◎見通しをもち、集中して活動が進め、決断できるように、活動時間を意識できるようにする。</p> <p>◎意欲が継続するように、早くシナリオが制作できたグループは、試しにスクープを制作するよう指示する。</p>
<p>4 本時のまとめを記入する。(終末5分)</p> <p>S : 「いたちごっこ」を分かりやすく伝えるために、休み時間の友達のおしゃべりを動画で表せばいいと思った。</p> <p>S : 「<u>圧巻</u>」を分かりやすく伝えるために、体育の時間の、友達のすごい技を写真で表せばいいと思った。</p> <p>S : 「いたちごっこ」を分かりやすく伝えるために、友達が二人出てきたり、僕の方がすごいって言ってたりしている。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目(思①)</p> <p>通>まとめの記述より、相手や目的を意識し、ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるために、場面を想像したり、表し方を工夫したりして、スクープすることを明確にしていることを評価する。</p> <p>知>まとめの記述より、ことわざ・故事成語の意味から、何が出てくるかを想像したり、その意味を伝えるために必要な言葉を集めたりして、スクープすることを考えているかを評価する。</p> </div> <p>◎めあてにあったまとめになるように、まとめの文型に沿って記述するよう指示する。</p> <p>○シナリオ制作から、スクープ制作までは一連の活動であるため、第4時の活動が終了してから振り返りを書くようにする。</p>

3 板書計画

め) ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるには、
どんな場面のどんな様子を何で表せばよいのだろうか。

(ICT 機器のスライド)

ま) ことわざ・故事成語の意味を分かりやすく伝えるには、
 (場面) の、 (様子) を、 (表現方法) で表せばよい。

ぼくたち、わたしたちの『ことわざ・こじせいご故事成語』は

です。

『いみ』は

です。

『使い方』は

2年生につたわるように、身近な場面の、身近なようすにおきかえてみよう

4コマまんがにしてみよう！

①

②

③いちばん見てほしいコマ

④ことわざ・こじせいご故事成語で、きめゼリフ

どんな場面？

どんなようす？

何であらわす？

スクープのやくわり

名前	やくわり
れい	

シナリオシート ことわざ・^{ことわざ}故事成語 たんていだん グループ 1

ぼくたち、わたしたちの『ことわざ・^{ことわざ}故事成語』は
 とうだいもとくらし
 です。

『いみ』は
 身近なことや、すぐちかくにあるものは
 いかいと気がつかないこと。
 です。

『使い方』は
 とおくのゆうめいなパンやさんには行ったことあるのに、いえの
 すぐ近くにあるすぐおいしいパンやさんには行ってない。とうだいもとくらしだ。

2年生につたわるように、身近な場面の、身近なようすにおきかえてみよう

4コマまんがにしてみよう！

①

Aくん 先生

②

Aくん 先生

③ **いちばん見てほしいコマ**

Aくん 先生

④ ^{ことわざ}ことわざ・^{ことわざ}故事成語で、きめゼリフ

あ、本当だ

⑤ **かんたんにかく!**
 (ぼう人げんでよい)

どんな場面?

休み時間

どんなようす?

- 先生がめかゆをさがしている。
- あたまの上をめかゆがある。

何であらわす?

動画